
競技上の注意事項(お願い)

□ 競技の運営が円滑に行われるよう、次の諸点にご協力ください。

1. 本大会は熊本県高等学校体育連盟から発表されている「熊本県高等学校体育連盟主催大会に係る新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」に準じる形で開催されますので、大会参加の選手ならびに顧問、応援部員、保護者の皆様は必ず熟読の上、大会に参加をお願いします。特に、次の項目にご留意下さい。
 - a. 大会当日は、新型コロナウイルス感染症症状検温チェックリスト(別紙)を各学校で会場ごとに準備をお願いします。
 - b. 会場では三密を避け、感染症対策(手洗い・ソーシャルディスタンス等)を徹底してください。会場により、更衣室が使用できない場合があります。
 - c. 試合をしていない時は、他者との間が密接している場合、常にマスクの着用を励行してください。
 - d. 試合開始及び終了後の選手の握手は行わず、礼のみで済ませて下さい。
 - e. 試合の観戦では、ソーシャルディスタンスに配慮し、原則として応援は拍手のみとします。
2. 大会期間中に熊本県下に新型コロナウイルス蔓延防止重点措置等が発表されている場合は、大会開催に当たり別途蔓延防止宣言下の防止対策を発表します。
3. 原則としてすべての試合を当該コートの前の試合の敗者によるソロチュア・アンパイア(SCU)方式で行います。ただし、1巡目の対戦はセルフジャッジ方式で行います。上位戦においては、ロービング・アンパイア(コートレフェリー)を入れることもあります。
4. 大会に参加できない生徒が出た場合の措置については棄権とし、代替りの選手が出る時はオープンとします。
5. 各日程受付を8:45より始めますので、出場選手は各日程の試合開始までに必ず受付を行って下さい。
6. 試合前のウォームアップはトスによるエンド決定の後に開始し、原則としてサーブ4本のみとします。ただし、上位戦は3分間練習を行うことがあります。
7. 25秒ルール・90秒ルールを厳守してください。
8. 試合前のユニフォームに、ゼッケン着用等による学校名を表示することを励行します。また、大会参加における服装規定は、現行の全国高体連テニス専門部服装規定に則るものとします。
9. 個人戦の試合は、可能な限りオーダー・オブ・プレー表の指示により進行します。控え(next=プレー中の次の試合)の選手は、オーダー・オブ・プレー表に注意して、前の試合終了後直ちにコートに入り試合を始めてください。団体戦の試合は、団体進行計画表に従ってください。
10. 荒天や試合の遅延などによる試合の中断、コート・会場の変更を行うことがあります。高体連テニス専門部ホームページからの情報にご留意いただくとともに、大会本部の指示に従ってください。雨天の場合も出場選手は一旦試合会場にて受付を行い、以後の日程の連絡を受け取ることを原則としています。
11. 試合球は、男女ともウイルソン「US OPEN EXTRA DUTY(エクストラ・デューティ)」。出場する選手が準備して下さい。ドロー番号の少ない(小さな)選手(=以後、「若番」と称する)が試合開始時に開封し、試合球として使用します。対戦後、勝者が未開封のボールを持ち帰り、次の対戦に使用してください。開封されたボールは敗者が持ち帰ってください。
12. ベンチは本部に近い方、得点板は上の段を若番が使用します。

《個人戦の注意事項》 【夏季大会形式】

1. 試合形式について
 - a. 《男女シングルス》全ての対戦を1セットマッチ・ノーアドバンテージ方式で行うことを原則とする。6ゲームズオールでITF方式タイブレークを採用する。また、準決勝戦敗者による3位決定戦ならびに準々決勝戦敗者による5~8位決定戦を行う。
 - b. 《男女ダブルス》全ての対戦を1セットマッチ(デュース有り)で行うことを原則とする。6ゲームズオールでITF方式タイブレークを採用する。準決勝戦敗者による3位決定戦も行う。
 - c. 表彰はシングルス、ダブルス共に4位まで行う。
2. 荒天時の大会日程について
 - a. 日程がずれてきても、原則として日程に明記してある種目についてはその当日に実施する。未消化試合は予備日に行う事を原則とするが、詳細は本部の指示に従うこと。

※コートマナーの向上に協力をお願いします

■次に該当する場合は、選手に対してペナルティーを科すことがあります。

- ・試合に際し選手がコートに入っていない場合——オーダー・オブ・プレーをこまめに確認するこ

と。

- ・レフェリーや審判に従わない場合——選手へのアドバイス、相手への言動、審判のジャッジに対するクレームをしてはいけません。
- ・ケイレンなどによりプレーが続行できない場合。
- ・その他、コード・バイオレーションなどルールに著しく違反した場合。

■大会期間中における熱暑対策について

- ・夏季大会に限り、熱中症対策として以下のことを認めます。
 - ・ポイント間の給水。
 - ・ポイント間のタオルの使用。タオルを使用する場合はコート後方(フェンス上が望ましい)に置いてよい事とします。
 - ・サイドチェンジ時のレスト中の日傘の使用。
- ・試合間のレストの時間はこれまで通りを目安としますが、最大30分取ることが出来ることとし、特に3~5試合目の時は、長めに取ることを運営担当からも提案します。
- ・敗者審判時には帽子の着用、タオルの使用、積極的な水分補給を励行して下さい。また、日傘の使用も許可します。
- ・速やかな大会運営の為に、ボールパーソン配置の協力をお願いします。
 - ・シングルの試合に限り、選手1名につきボールパーソン1名を認めます。
 - ・ボールパーソンは、選手へのアドバイスや応援、拍手をすることはできません。